

季節のお茶会を楽しみましょう

茶道部

担当教員

短大保育学科
宇津木七実



連携先

関西女子短期大学 保育学科

プログラム内容

2025年10月26日(日)、美葉祭で、地域に向けての行事「お茶会」を企画実施し、日頃の練習の成果を地域の方々に披露しました。わざわざ立教館まで足を運んでくださるお客様が、居心地よく過ごせるように、立礼式の御園棚や座席を配置し、掛物や花入れを準備しました。部活では、和気あいあいと練習をしている学生たちですが、当日は、様々な年齢の地域の方々に、おもてなしをする心もちで、お点前や接客をしていました。

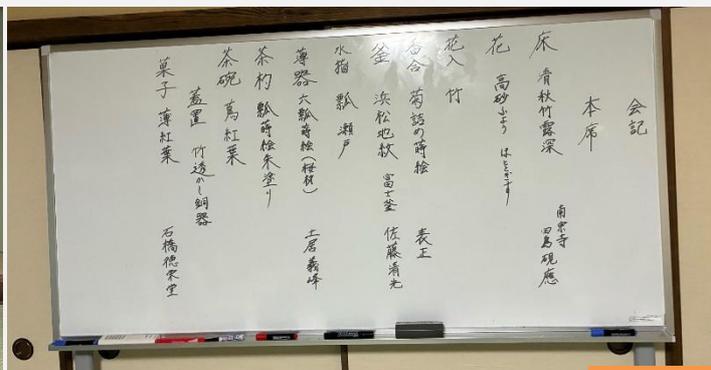
成果・考察

学生同士や講師の先生、顧問との打ち合わせを重ね、企画書を作成し、何をどのように準備したら、自分たちがスムーズに動くことができ、お客様に楽しんでいただけるかを考え、企画を練り準備しました。当日は、お点前やお運び、受付などを部員全員で担当し、学園の教職員や地域の方々をお迎えしました。卒業生もお手伝いに来てくれました。車椅子で来場された方にも、授業で身につけた知識や技能を活かし対応し、喜んでいただきました。

部員にとっては、日頃の練習で身につけた作法を、実践できる良い機会となりました。また、様々な年齢の方々とおふれあうことで、他世代とのコミュニケーションについて学ぶ機会となりました。



立礼式の設え



おもてなし



保育学科

宇津木七実 教授

自主練習では、「和菓子がおいしい」「皆とおしゃべりが楽しい」と、部活動を楽しんでいる学生たちです。講師で来ていただいている裏千家の高岸先生には、各々の学生の力量に合わせて丁寧にご指導いただき、学園外でも茶道の世界にふれる機会を積極的に作っていただいています。

地域の方々のためのお茶会をすると、自分たちが楽しむのではなく、おもてなしをする立場になります。お点前の練習はより真剣さが増し、お抹茶を楽しみに来てくださるお客様のことを考えた準備をすることになります。日本の伝統や季節について、改めて学ぶ機会ともなります。クラブ活動を地域に開くことで、地域から学びを支援いただいています。



受付も交代で

準備や接客は大変でしたが、皆さんに喜んでもらえて、嬉しいです。これからも、練習に励みます。